

様式3 令和7年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

目指す学校像 (重点目標)	温かく 美しく ひとみ輝く 新開小 ～「Happiness After Smile」 誰もが幸せになる笑顔あふれる学校づくり～	学校名	新座市立 新開小 学校
		実施日	令和8年1月14日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目 「組織運営」

評価項目	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
組織運営	学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	A	・前年度の反省を生かし、日課表や校内組織、部会の持ち方を工夫し、教職員の負担を軽減した。部会の終了時刻を守るなど課題が残った。 ・校務DXを活用して、効率的に業務をこなし、全体的に退勤時間を早めることができた。（情報共有、成績処理等）	B	・働き方改革が進み全体的には業務の効率化が行えているように思えるが、残業時間については前年度と変化が見られない。効率的に業務をこなすことについては、先生方の個人差が大きいと感じる。前年度の反省点を改善したことは評価できるが、まだまだ改善の余地があると思える。引き続き働き方改革に取り組んで、改善に努めていただきたい。
学力向上	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるように、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	・校内研修や管理職による授業参観、示範授業、教育支援課学校訪問などの機会を通じて、授業改善（主体的、対話的な学び）に取り組むことができた。 ・毎時間の振り返りについては、クラス間で取組に差がある。振り返る項目や意義など校内研修を通じて実りあるものにする。	A	・前年度の要望に対して改善がうかがえた。研修等の取り組みについても先生方の努力や意欲がうかがえた。ただし、キャリアの差で振り返りの時間に差が出てきていることについては、今後改善をお願いしたい。
豊かな心の育成	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	A	・児童のあいさつの取組は、教職員による自己評価及び保護者評価でも、落ち込みのある項目であった。まずは、教職員が気持ちの良い挨拶を率先し、進んで挨拶をする環境を醸成する。また、保護者、地域にも協力を呼びかけていく。	A	・校内での児童の挨拶はほぼ完ぺきと感じる。ただし、地域の方々が出入りする場所（公民館等）などでは、なかなか挨拶が定着していないように感じる。挨拶は家庭での教育が基本であるが、学校からも保護者への啓発を促し、保護者や子どもたちの意識が変わらるような努力を継続してほしい。
健康・体力の向上・安全	学校は、体育や休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	A	・外遊びの励行、体育の時間の導入時の補教運動、家庭での体力アップカードなど、運動に親しむ環境作りを行った。 ・体力テストの結果を意識した取組については課題が残った。	B	・運動に親しむ環境づくりは評価できるが、気候条件等の理由でプール時間が確保できていない点については課題性を感じた。市内の一部の小学校ではプール委託で天候に関係なくプール時間を確保できているが、新開小はできない。市内での格差をなくすためにも全小学校にプール委託ができるように市に強く要望するべきである。
保護者・地域との連携協力	学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	S	・学校だよりや学年通信、スクールメールなどで、教育活動の情報を発信することができた。また、校外学習の安全支援やミシン実習の学習支援、ゲストティーチャーを招いた授業など家庭、地域と連携した豊かな学びを実現できた。学校応援団の協力も得て、安全支援や環境整備もできた。	B	・学校だよりやスクールメール等、教育活動についての発信をしっかりと行っているが、地域との連携に関しては、活動を行えたものの発信が遅いと感じる。難しいとは思うが、早めに予定を組み先生方も情報を共有し、早い段階で保護者や地域の方に発信してほしい。 ・保護者の学校評価アンケートについても回答率が低すぎると感じるので、発信するだけではなく保護者との連携の仕方を考え、できるだけ多くの保護者からの声を吸いあげる工夫をしてほしい。